

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1193））

2. 日時：平成30年8月15日 10時00分～11時35分
13時30分～18時15分

3. 場所：原子力規制庁 8階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

正岡主任安全審査管、田尻安全審査官、照井安全審査官、関根技術研究調査官、宇田川原子力規制専門職

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 工認チーム 副長 他10名

東北電力株式会社：原子力部（原子力業務） 副長 他2名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部

安全強化プロジェクト管理グループ 担当 他3名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 副長 他2名

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保守部 保守計画課 主任 他2名

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力設備） 担当 他3名

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当 他2名

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、8月13日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る強度に関する説明書、技術基準規則と工事計画書の添付資料との紐付き表及び基本設計方針について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【重大事故等クラス2支持構造物（容器）の強度計算方法】

○ 座屈端部における曲げモーメントM1とM2について説明を追記すること。

【常設高圧代替注水系ポンプの強度計算書】

○ ポンプのケーシング材料として用いる材料について、ASME規格の相当材としてJSME規格又はJIS規格の材料を適用する同等性について説明を追記すること。

○ 許容引張応力Sについて、JIS規格を適用していることを注記で明示すること。

【フィルタ装置の強度計算書】

○ 有効運転質量 m_0 について、容器本体、容器内構造物、スクラビング水等のそれぞれの重量を整理して提示すること。

○ スクラビング水の水頭圧、ベント時の動荷重の考え方について整理して提示すること。

○ ベントガス入口及び出口の管台について2種類ある理由を整理して提示すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ V-3-2-13 重大事故等クラス2支持構造物（容器）の強度計算方法
- ・ V-3-10-1-1-2-1 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機空気だめの強度計算書
- ・ V-3-5-4-4-1 常設高圧代替注水系ポンプの強度計算書
- ・ V-3-9-2-5-1-4 フィルタ装置の強度計算書
- ・ V-3-5-2-1-1 自動減圧機能用アキュムレータの強度計算書